



エコアクション21 環境経営レポート



2023年度(第21版)
(取組期間：2023年9月1日～2024年8月31日)
2025年3月27日発行

KUMAMOTO
KIKUCHI
ARAKI CONSTRUCTION



株式会社

荒木建設

目次

1. 会社概要	3
2. 実施体制	4
3. 環境経営方針	5
4. 環境経営目標	6
5. 主要な環境経営計画の内容	7
6. 環境経営目標の達成状況	8
7. 環境活動の取組内容	11
8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果・次年度の取組	15
9. 環境関連法規制の遵守状況	16
10. 代表者による全体の評価と見直し記録	17

1. 会社概要

- 会社名 株式会社 荒木建設
- 代表者 代表取締役 荒木 敬博
- 所在地 熊本県菊池市木柑子1427番地
- 環境管理責任者氏名 環境管理責任者 池本 美咲
及び連絡先 連絡先【TEL】0968-24-3131
【FAX】0968-24-3133
- 事業内容 土木工事業 とび・土工工事業
舗装工事業 解体工事業
- 事業の規模 売上高：363,865千円
工事件数：13件
従業員数：23人
敷地面積：3,814㎡
延床面積：1,155㎡
- 創立年月 昭和28年9月
- 資本金 2,400万円
- 建設業許可番号 熊本県知事（特-1）第3429号



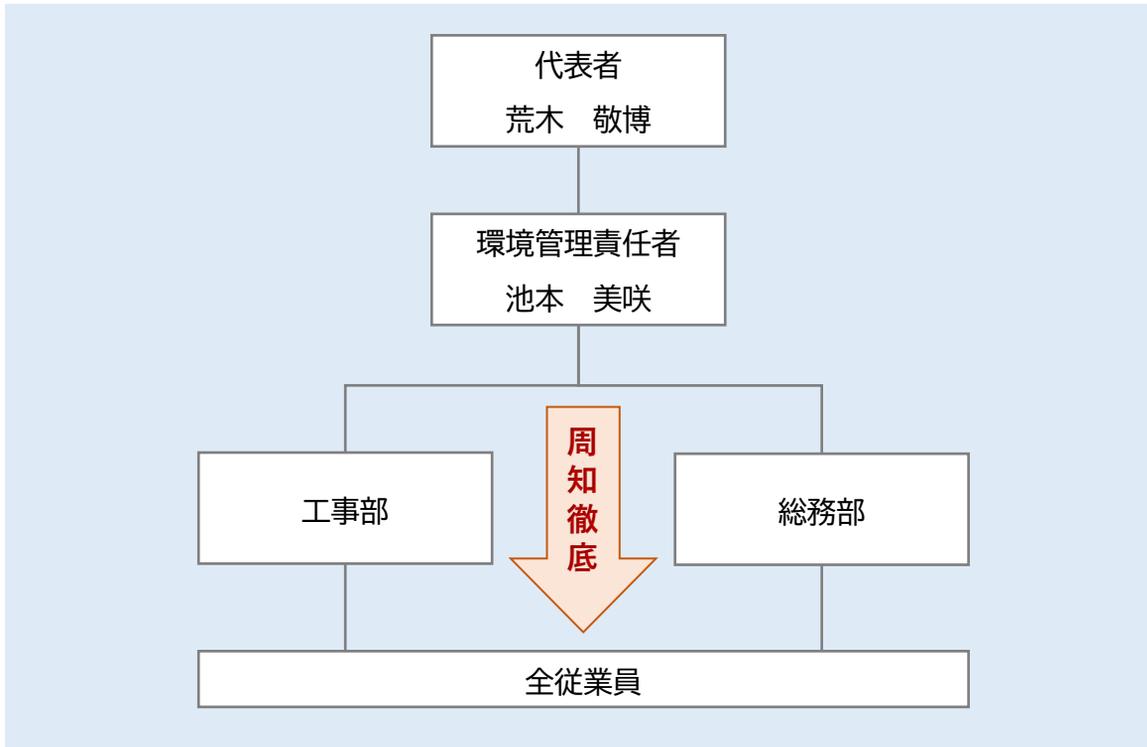
会社の外観



社内の様子

2. 実施体制

■体制図



■各担当の役割・責任・権限

担当	役割・責任・権限
代表者	・ 経営における課題とチャンスの明確化
	・ 環境経営方針の策定及び全従業員への周知
	・ 実施体制の構築
	・ 環境管理責任者の任命
	・ 資源（人員・設備・費用）の準備
	・ 代表者による全体の評価の見直し
環境管理責任者	・ 環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況を代表者に報告
	・ 外部からの苦情等の受付と必要な対応及び結果の記録
	・ データの収集・集計、文書類の作成・確認・管理を行う
	・ 環境経営レポートの作成
部門長	・ 環境経営目標達成のため自部門の環境活動を推進する
	・ 自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する
全従業員	・ 環境経営方針の理解と環境への取組みの重要性の自覚
	・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

3. 環境経営方針

✓基本理念

株式会社 荒木建設は、事業活動を通して地域の環境保全に貢献するため、地域との共生を図り、地球環境の保全に配慮して行動し、環境負荷の継続的削減に努めます。又、社員一丸となって、お互いを尊重し助け合う事で働き甲斐のある職場づくりを目指します。

✓方針

1. EA21に基づく環境マネジメントシステムを構築し、PDCAサイクルを繰り返し、環境経営の継続的改善に努めます。
2. 環境保全に関する法規制を遵守し、一層の環境保全に取り組みます。
3. 事業活動の中で、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進します。
 - ・電気や燃料等の削減を通して二酸化炭素排出量の削減につなげます。
 - ・建設工事に伴い排出される建設廃材のリサイクル化に努めます。
 - ・貴重な水資源の節約に努めます。
 - ・環境に優しい部材購入に努めます（グリーン購入）。
 - ・環境に配慮した工事施工を目指します。
 - ・整理・整頓・清掃に努め、安全な工事現場を維持します。
 - ・工事現場の公害（特に、騒音・振動、粉塵・水質汚濁）を防止します。
4. すべての社員が環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境経営方針を全従業員に周知します。



2006年12月01日制定
2024年06月01日改定

株式会社 荒木建設
代表取締役 **荒木敬博**

4. 環境経営目標

No.	環境経営目標項目	単位	2022年度実績	2023年度	2024年度	2025年度
1	二酸化炭素排出量の削減 ▶二酸化炭素排出量	kg-CO2 売上(100万円)	371	前年度比 1%	前年度比 1%	前年度比 1%
2	二酸化炭素排出量の削減 ▶電力使用量	kwh	21,390	前年度比 1%	前年度比 1%	前年度比 1%
3	二酸化炭素排出量の削減 ▶重機・車両燃料使用量 (ガソリン・軽油・灯油)	ℓ	47,413.9 8	前年度比 1%	前年度比 1%	前年度比 1%
4	廃棄物排出量の削減 ▶産業廃棄物のリサイクル率向上	%	100	100	100	100
5	総排出量の削減 ▶水使用量	m3	116	前年度比 1%	前年度比 1%	前年度比 1%
6	環境美化活動 ▶菊池溪谷(菊池川河川公園)の 清掃活動	回	2	1回の実施	1回の実施	1回の実施
7	グリーン購入活動実施率	%	100	100	100	100
8	環境配慮工事实施率	%	100	100	100	100

√2022年度の二酸化炭素の総排出量：128,381.87 kg-CO2

√2019年度の九州電力二酸化炭素実排出係数：0.370kg-CO2/kwh を使用

▶▶▶ 長期視点でのビジョン

2015年に採択された「パリ協定」では、世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2℃より十分低く保ち、1.5℃に抑える努力をするため、できるかぎり早く世界の温室効果ガス排出量をピークアウトし、21世紀後半には、温室効果ガス排出量と（森林などによる）吸収量のバランスをとるという目標が掲げられました。当社も2050年に向けて温室効果ガス排出抑制に取り組んでいきたいと思っております。

5. 主要な環境経営計画の内容

環境経営目標		活動計画
1	二酸化炭素排出量の削減 二酸化炭素排出量 前年度比1%削減(単位kg-CO2)	<ul style="list-style-type: none"> ・電気消費量削減活動 ・運搬車両燃料消費量削減活動 ・環境啓発教育活動
2	二酸化炭素排出量の削減 電力使用量 前年度比1%削減(単位kwh)	<ul style="list-style-type: none"> ①空調の適正管理 ②休憩、外出時の消灯励行 ③不必要な電灯の消灯 ④エアコンフィルタの清掃 ⑤エアコン設定温度 夏 28℃ 冬 20℃ ⑥昼休み中の消灯
3	二酸化炭素排出量の削減 重機・車両燃料使用量 (ガソリン・軽油・灯油) 前年度比1%削減(単位L)	<ul style="list-style-type: none"> ①無駄なアイドリングの自粛 ②急発進、急ブレーキの自粛 ③収集運行ルート効率化 ④燃料使用量の把握 ⑤工事車両は乗せていき車の台数を減らす ⑥工事道具を忘れないように前日に準備する
4	廃棄物排出量の削減 産業廃棄物のリサイクル率向上 100%	<ul style="list-style-type: none"> ①排出事業者に分別の徹底依頼 ②収集時にリサイクル品を分別 ③分別処理の事務所への報告 ④再生、再利用可能な業者の情報収集 ⑤委託品の適切な業者への搬出
5	総排水量の削減 水使用量 前年度比1%削減(単位m2)	<ul style="list-style-type: none"> ①洗車時の節水徹底(洗車時間短縮等) ②建設機械の洗車時の節水(洗車時間短縮等) ③生活用水の節水(無駄な使用の排除)
6	環境美化活動 菊池川河川公園の清掃活動 年間通して1回の予定	①4時間の奉仕活動
7	グリーン購入の推進 グリーン購入活動実施率100%	<ul style="list-style-type: none"> ①グリーン対象品目の選定 ②購入可否検討
8	環境配慮工事实施率 環境配慮工事实施率100%	<ul style="list-style-type: none"> ①建設廃材の再利用、リサイクル ②新技術の促進・活用 ③現場の整理・整頓・清掃の実施 ④騒音・振動、粉塵・水質汚濁への配慮

6. 環境経営目標の達成状況

■2023年度（2023年9月～2024年8月）の実績値と目標達成状況

No.	環境経営目標項目	単位	2022年度実績	目標値	2023年度実績	目標達成率
1	二酸化炭素排出量の削減 ▶二酸化炭素排出量	kg-CO2 売上 (100万円)	371	367.29	351	105%
2	二酸化炭素排出量の削減 ▶電力使用量	kwh	21,390	21,176.1	21,280	99.5%
3	二酸化炭素排出量の削減 ▶重機・車両燃料使用量 (ガソリン・軽油・灯油)	ℓ	47,413.98	46,939.84	47,309.86	99.2%
4	廃棄物排出量の削減 ▶産業廃棄物のリサイクル率 向上	%	100	100	99.7	99.7%
5	総排出量の削減 ▶水使用量	m3	116	115.83	88	132%
6	環境美化活動 ▶菊池渓谷(菊池川河川公園)の 清掃活動	回	2	1	1	100%
7	グリーン購入活動実施率	%	100	100	100	100
8	環境配慮工事実施率	%	100	100	100	100

✓2023年度の二酸化炭素の総排出量：127,570.68 kg-CO2

✓2019年度の九州電力二酸化炭素実排出係数：0.370kg-CO2/kwh 使用

■実績の分析 (No.1～No.5)

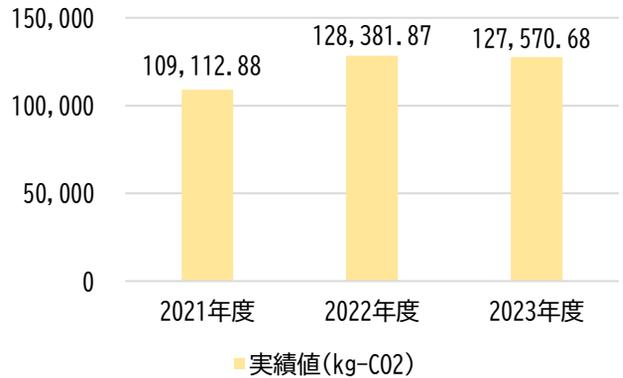
1. 二酸化炭素排出量



二酸化炭素排出量の推移 (原単位)

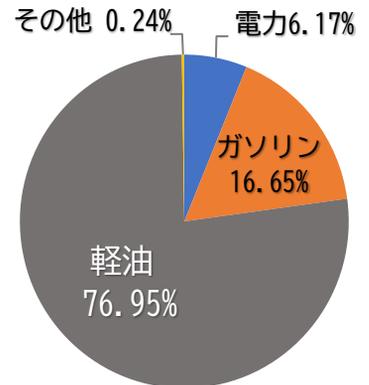


二酸化炭素総排出量の推移



原単位の二酸化炭素排出量については過去三年の中で一番低く、目標を達成することができた。しかし、二酸化炭素総排出量でみると2022年度よりは減っているが、2021年度よりは増えている。2021年度は他の年に比べ売上高が少なかったため原単位でみると増えているが、排出量自体は少ない。排出量が増えた要因としては、重機を多く使用する工事や工事場所が山の中など離れた場所にある工事が増えたことなどが挙げられる。項目別の割合でみると、軽油が3/4を占めており、重機やダンプトラック等の軽油の使用が多いことがわかる。重機の使用は工事に必要不可欠であり、大幅に削減することは難しいが、効率的に作業する等少しでも使用量を減らすための取組みを実施していきたい。

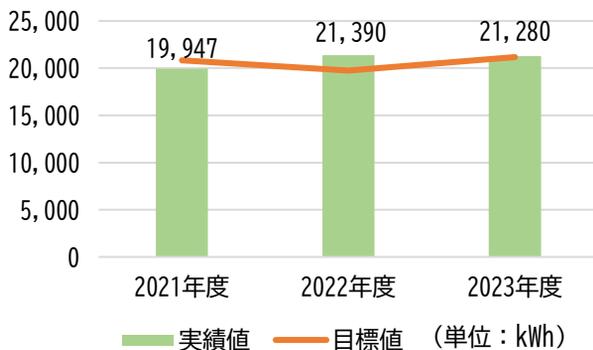
排出量の項目別割合



2. 電力使用量



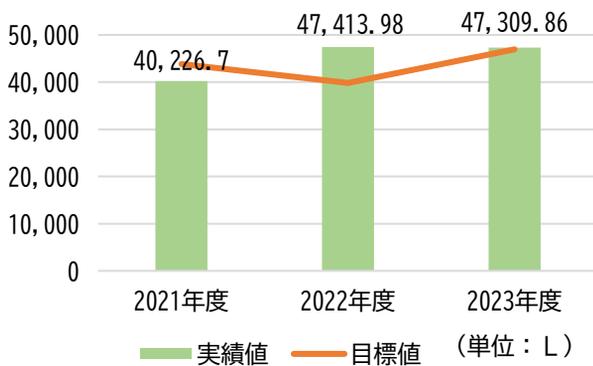
電力使用量の推移



電力使用量は3年間ほぼ横ばいで、2022年度よりは減ったが、目標達成には至らなかった。要因としては冬場や夏場など電力を多く使用する時期に例年より現場数が多かったこと等が挙げられる。体調が優先のため仕方がないが、こまめにエアコンの温度調整をすること、昼休憩や事務所不在時の消灯等を徹底し電力使用量の削減につなげていきたい。

3. 重機・車両燃料使用量（ガソリン・軽油・灯油）

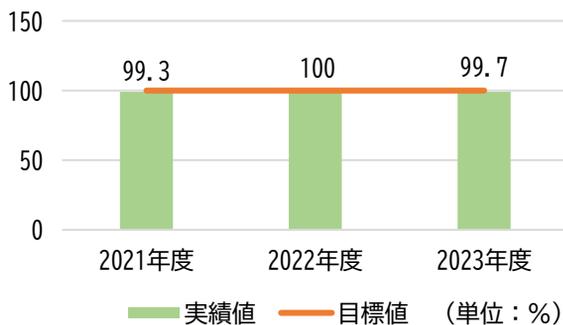
重機・車両燃料使用量の推移



重機・車両燃料使用量は2022年度よりは減っているが、目標達成には至らなかった。2021年度に比較し燃料使用量が約7,000 Lほど増えている。増えた要因はNo.1の分析でも述べたように、重機を多く使用する工事や工事場所が山の中など離れた場所にある工事が増えたことが挙げられる。安全には十分注意しながら効率的な作業の実施とエコドライブの意識等引き続き取り組んでいきたい。

4. 産業廃棄物のリサイクル率

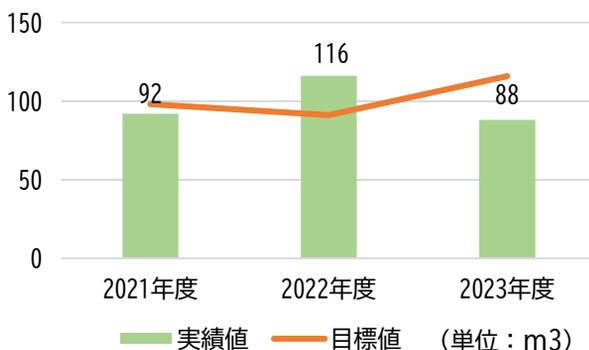
産業廃棄物のリサイクル率の推移



産業廃棄物のリサイクル率は99.7%で目標を達成することはできなかった。要因としては、解体工事にて石綿等の最終処分の廃棄物が発生したこと等が挙げられる。古い建物の解体工事をするると石綿等の廃棄物の発生が増えるため100%リサイクルすることはできないが、その他の廃棄物についてはリサイクル可能な処理施設の選択を推奨し、リサイクル率が100%になるよう努力していく。

5. 水使用量

水使用量の推移



水使用量は目標を達成することができた。達成できた要因としては、洗車時の節水に加え、洗車自体の回数が減ったこと等が挙げられる。事務所の車について回数は数えていないが、おそらく前年度の半分以上洗車回数が減っている。洗車回数が減った理由は偶然的なものだが、良い結果につながったため、今後も続けていきたい。

7. 環境活動の取組内容



①環境美化活動

毎年、菊池市の河川敷・公園やカーブミラー等の清掃を行っています。また、熊本県とマイリバーサポートの協定を締結し、ごみ袋や手袋の配布等の支援を受けながら取り組んでいます。

河川公園清掃



カーブミラー清掃



②グリーン購入

商品購入の際は環境に配慮した商品の選定・推奨を行っています。少しずつですがグリーン購入の品目が増えています。

チョーク



コピー用紙



メディアファイル



のり



③環境配慮工事

✓**建設廃材の再利用、リサイクル**
建設資材は再生クラッシュラン等の再生資源を購入し、会社の資材置場に保管し使用しています。



✓**現場の整理・整頓・清掃の実施**

日頃から現場事務所や施工場所の整理整頓を実施しており、定期的に社長が社内パトロールにてチェックを行っています。





✓新技術の促進・活用

■ドローン撮影

一部の工事ではドローンを使用し施工場所の撮影を行いました。撮影は無人航空従事者の技能講習・資格を取得した従業員が行っています。

＼着工時撮影／



＼竣工時撮影／



■電子KY

「令和5年度竜門ダム管内維持管理工事」ではKY活動を電子化・データベース化できるクラウドサービス「らくらく現場」を導入しました。数値化はしていないものの、KY活動に係る作業の効率化と紙の使用削減に効果的でした。

■ICT施工

今期では対象工事がなかったものの、ICTを活用した施工についても取り組んでおり、少しずつですが施工実績も増えていきます。来期の環境経営レポートで紹介したいと思います！

✓騒音・振動、粉塵・水質汚濁への配慮

騒音・振動、粉塵・水質汚濁すべてに配慮して工事を行っています。特に水質汚濁については河川掘削やダムの維持管理工事を施工していることから、より一層の注意を払っています。「令和5年度竜門ダム管内維持管理工事」では竜門ダム管内安全協議会による水質事故対策訓練を実施し、他の建設業者や工事関係者を含む21名が参加しました。実際に水質事故が起きた際に、迅速で確実な対応ができるよう訓練参加者全員でロープワーク実践訓練と油の流出事故対策訓練を行いました。



ロープワーク実践訓練



油の流出事故対策訓練





④地域貢献

✓インターンシップ

令和6年8月6日から8月8日の3日間にわたり、高校生のインターンシップの受け入れを行いました。工事場所を巡って施行中の現場を見学したり、ダムの維持管理工事に集塵作業等の体験をしたりしました。初めてのことに触れる3日間だったかと思いますが、これを機に建設業に興味を持ってもらえると嬉しいです。

工事現場見学



ダムにて集塵作業体験



✓ブラックバス釣り上げ大会

令和5年9月16日に竜門ダムにて竜門ダム安全協議会主催のもと「第14回ブラックバス釣り上げ大会」を開催しました。竜門ダムでは近年ブラックバス等の外来種が繁殖しており、在来種が捕食される等の生態系のバランスへの影響が心配されるため、地域一体となった環境保全活動を目的に毎年開催しています。荒木建設は参加団体の代表として準備・設営・大会運営等を行いました。今回はコロナの影響もあり数年ぶりの開催でしたが、協賛企業様やご来場の皆さまのおかげで無事に開催することができました。

大会の様子



＼ブラックバスの大きさを計測中／



竜門ダムフェスタin菊池2023 参加費 無料
第14回 竜門ダム ブラックバス 釣り上げ大会
 令和5年 9/16(土) 少雨決行(大雨中止)
 菊池市竜門ダム(堤体付近)
 大会スケジュール
 受付開始 9時30分～10時
 釣行開始 10時30分～11時30分
 集 計 式 11時より
 受付場所 竜門ダム2023受付ブース
 大会の様子
 賞品も出ます!! (参加賞あり)
 TEL0968-24-3131 TEL0968-41-8403



釣ったブラックバスは回収し生ごみ処理機にて粉碎処理後、肥料として使用します。楽しく大会に参加することが駆除だけでなく、資源の再利用にまで発展します！





⑤社内活動

✓緊急事態訓練

工事現場での刈草の火災を想定し、消火器を使った訓練を実施しました。



✓社内安全パトロール

社長が各工事現場を回り、チェックシートを用いたパトロールを実施しています。女性従業員が参加する場合もあり、現場をあまり知らない目線からチェックをすることで新たな気づきがあります。



⑥その他

✓表彰

国土交通省 九州地方整備局長より「令和6年度工事成績優秀企業」として、認定されました。（令和6年7月22日付）
一昨年・昨年に引き続き、3年連続の認定となります。

授与式



✓SDGs

熊本県SDGs登録制度について、第2期登録事業者として登録をしています。（登録期限が令和7年1月25日までですが、レポート作成時点で更新の手続きは済んでいます）
2030年のSDGs達成に向け掲げた取り組みはエコアクションとも重なる部分があるため、合わせて取り組んでいこうと思います。

現場にも掲載



8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果・次年度の取組

環境経営目標		活動項目	実施状況	評価
1	二酸化炭素排出量の削減	・電気消費量削減活動	○	活動項目についてきちんと取組み、目標も達成することができた。この項目は昨年も目標を達成しており、環境改善に対する意識が日常的に自然に高まっていると思う。今後も引き続き環境改善に取り組んでいきたい。
二酸化炭素排出量 前年度比1%削減 (単位kg-CO2)		・運搬車両燃料消費量削減活動	○	
		・環境啓発教育活動	○	
2	二酸化炭素排出量の削減	①空調の適正管理	○	活動項目については概ね取り組んでいたが、目標達成には至らなかった。エアコンの設定温度は現場が山の中であると気温が低く冬場は設定温度をあげてしまったりと、すべての現場で徹底することは難しかった。電力使用量自体は前年度より減っているため、引き続き使用量の削減に取り組んでいきたい。
電力使用量 前年度比1%削減 (単位kw)		②休憩、外出時の消灯励行	○	
		③不必要な電灯の消灯	○	
		④エアコンフィルタの清掃	○	
		⑤エアコン設定温度 夏 28℃ 冬 20℃	△	
		⑥昼休み中の消灯	○	
3	二酸化炭素排出量の削減	①無駄なアイドリングの自粛	○	活動項目については取り組んでいたが、目標達成には至らなかった。活動項目にプラスして、現場や役所等への移動はできるだけ移動回数が減るようにまとめて用事をすませる等日頃から意識している。燃料使用量自体は前年度より減っているため、引き続き使用量の削減に取り組んでいきたい。
重機・車両燃料使用量 (ガソリン・軽油・灯油) 前年度比1%削減 (単位L)		②急発進、急ブレーキの自粛	○	
		③収集運行ルートの効率化	○	
		④燃料使用量の把握	○	
		⑤工事車両は乗合せていき車の台数を減らす	○	
		⑥工事道具を忘れないように前日に準備する	○	
4	廃棄物排出量の削減	①排出事業者に分別の徹底依頼	○	活動項目については取り組めたが、目標達成には至らなかった。解体工事で石綿等の最終処分廃棄物が発生したため、100%にはならなかったが、すべての産業廃棄物をマニフェストを用いて管理し、適切にリサイクルや処分ができた。今後も徹底して取り組んでいきたい。
産業廃棄物のリサイクル率向上 100%		②収集時にリサイクル品を分別	○	
		③分別処理の事務所への報告	○	
		④再生、再利用可能な業者の情報収集	○	
		⑤委託品の適切な業者への搬出	○	
5	総排出水量の削減	①洗濯時の節水徹底 (洗濯時間短縮等)	○	すべての項目について取り組み、目標を達成することができた。今後も徹底して取り組んでいきたい。
水使用量 前年度比1%削減 (単位m2)		②建設機械の洗濯時の節水 (洗濯時間短縮等)	○	
		③生活用水の節水 (無駄な使用の排除)	○	
6	環境美化活動			年1回の清掃活動に取り組めた。8月～9月の年度でみると1回だが、1月～12月の年間でみると2回実施している。また、現場周辺等の地元の清掃活動にも取り組めた。今後も継続してきたい。
菊池川河川公園の清掃活動 年間通して2回の予定		①4時間の奉仕活動	○	
7	グリーン工業の推進	①グリーン対象品目の選定	○	前年に購入していたものは引き続き購入を続けている。少しずつではあるがグリーン購入品目が増えてきており、今後も積極的に取り組んでいきたい。
グリーン購入活動実施率100%		②購入可否検討	○	
8	環境配慮工事実施率	①建設廃材の再利用、リサイクル	○	全工事で環境に配慮した施工ができ、近隣住民等からの環境に関する苦情・要望等はなかった。今後は新技術の促進・活用としてICTを使用した施工を増やすべく、ICTの講習等にも参加してきたい。
環境配慮工事実施率100%		②新技術の促進・活用	○	
		③現場の整理・整頓・清掃の実施	○	
		④騒音・振動、粉塵・水質汚濁への配慮	○	

○・・・できた △・・・一部できた ×・・・できなかった

9. 環境関連法規制の遵守状況

調査実施日 2024年 8月20日

適用法規	法規の要求事項	遵守状況
廃棄物処理及び清掃に関する法律	保管場所表示、保管基準の順守	○
	運搬・処分業者との委託契約	○
	マニフェストの交付・回収	○
	県へのマニフェストの年間報告書の提出	○
	運搬車輛への表示、マニフェスト携帯	○
建設リサイクル法	建設廃材の適正処理（リサイクル）	○
資源有効利用促進法	長期使用、再生資源の努力義務 適切な処理業者への処分依頼	○
家電リサイクル法	買換時リサイクル料負担 適切な処理業者への処分依頼	○
自動車リサイクル法	車検又は買換時リサイクル料負担 適切な処理業者への処分依頼	○
フロン排出抑制法	施工計画書による工事及び遵守の届出 排出防止対策の実施	○
浄化槽法	定期的な保守点検、清掃の実施 法定点検の実施	○
騒音規制法 (特定工事)	施工計画書による工事及び遵守の届出 騒音防止対策の実施	○
振動規制法 (特定工事)	施工計画書による工事及び遵守の届出 振動防止対策の実施	○
大気汚染防止法	石綿含有建材の使用有無について事前調査 発注者へ結果の説明、自治体等への報告 事前調査結果・特定作業に係る掲示	○

調査の結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。
また、関係当局や外部からの指摘、苦情等もありません。

10. 代表者による全体の評価と見直し記録

1. 評価事項

実施日 2024年 8月30日

No.	評価事項	評価結果（指摘事項）
1	環境経営目標の達成状況	CO2の排出量が5年連続で減少しているので次年度も更なる工夫をして達成できるようにする。
2	環境活動の実施及び運用結果	エンジン式工具をバッテリー式の工具に少しずつ移行させ排出ガスの削減・騒音の低減に取り組む。
3	環境関連法等の順守状況	環境関連法規はきちんと守られている。現状維持に努める。
4	外部からの環境に関する苦情や要望	今現在、環境に関する苦情の報告は受けていない。今後も苦情等がないように見守りたい。
5	前回の評価の結果	燃料費高騰による対策として車両の燃費・使用量の削減にもっと力をいれていく為、みんなで課題をだしあって取り組みたい。
6	その他、代表者が必要と判断した情報	現場でのICT活用に向け、定期的に講習に参加し現場でチャレンジしていく。
7	実施体制	なし

2. 見直し事項

No.	評価事項	見直し結果	期限	改善内容	改善責任者
1	環境経営方針の変更	なし			
2	環境経営目標の変更	なし			
3	環境経営計画の変更	なし			
4	環境経営システムの変更	なし			
5	その他	なし			

荒木建設環境経営レポート作成OFFICE

今年度から環境経営責任者になり、環境経営レポートの作成をすることになりました。池本です。前年度は補佐として提出書類の作成に少し携わっていましたが、こうして自分が主体となって書類づくり等を行うのは初めてで、色々と模索しながらレポートを作成していきました。エコアクションを通して、普段何気なく使っていたのがグリーン購入で環境にやさしいものだったり、現場で取り入れている新技術が環境に良いものだったり、たくさんの気づきがありました。普段現場に行くことがほとんどないため、現場のことをより知ることができ、仕事面でもプラスになりました。次年度は今年度の経験を踏まえ、よりよいレポートの作成とエコアクション活動ができるよう努めていきます！

また女性従業員によるパトロールとして、ダム^①の維持管理工事を見に行った際、現場に女性用のトイレや更衣室等が設置してあり、女性も働きやすい環境が整えられていました。実際に維持管理工事の現場代理人は女性が担当しており、建設業＝男性のイメージが変わりました。建設業は人々が安全に生活するうえでなくてはならない仕事ですが、年々建設業従事者が減少しており、人手不足が進んでいます。今後は女性・男性関係なく建設業に興味を持ってもらい、人手不足が解消することを願っています。



環境管理責任者 池本

荒木建設写真集

ーレポートには掲載していない写真たちー

＼親子でバス釣り／



＼バス釣り大会表彰式／



＼地域貢献 小学校のマラソン誘導／



朝のラジオ体操中

